

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)

(毎月赤旗読者に配達)

(民報のみは月100円)
発行 日本共産党・手良支部

新入生12名

手良小学校の入学式は4月5日に行われ新入生12名が入学しました。式は国歌斉唱から始まりました。

学校長式辞では皆さんが入学するのをみんな楽しみにしていたと「おめでとう」として「おめでとうの言葉は心からこぼれ出すように話をして教職員が一致協力して教育に当たって行く」と述べられました。

先生の言うことを良く聞いてと教育委員会のあいさつがあり一年生の担任の発表がありました。

来賓あいさつでは地元竹中市議員より「学校には、あいさつをきちんとする、友達を大切にやる事を約束がある」とお話されました。

P.T.A会長のあいさつでは入学生全員の名前を呼んでから「明日からは自分で歩いて学校へ来て、初めてのことは

ひろみ通信 ②

初めての無投票当選

4月15日告示で行われた伊那市議員選挙、無投票とあり残念ではありましたが、選挙前の準備に後援会の活動にご支援いただいた皆様ありがとうございました。

新市で4期目に入り決意も新たにしています。市民アンケートや対話の中で寄せられたご意見を今後の議会活動に活かして行きたいと思っています。

「バスが一日2回しか通らない」「老後が不安」「妻の介護をしていくのが限界」「児童クラブの職員給与改善はうれしかった。施設の改善も」「一人親家庭の親の就学支援を受けやすしてほしい」

小学校の入学式

かみであるが優しい先生・お兄さん・お姉さんがいるので大丈夫、保護者のみなさんには子供たちの生活が充実したものにしようPTAの活動に積極的に参加を、などあいさつがありました。新入生を迎える言葉では鈴木児童会長より「やさしいお兄さん・お姉さんいること、楽しい行事がいっぱい」などお話しされました。



入 学 式

こうした声に答えられる市政にと活動してまいります。手良地区からは候補者がありません。私は中坪区、下手良区、八ツ手区から推薦を頂きました。

道路や水路・河川等の要望を支援して行きます。また、人口減少も地域の課題と思います。地域の魅力ある活動の支援なども相談頂ければと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。柳川ひなみ

電話 090-96667-1
FAX 7605770



市社協へ野菜など寄贈 野口高齢者クラブ

野口高齢者クラブ(片桐辰雄会長)は昨年12月に続いて3月13日に会員などから集めた野菜や米などの食材を市社会福祉協議会に寄贈しました。

蛙異変

シユレーゲル青蛙は沼地に棲み春先コロコロという甲高い鳴き声で鳴きます。夕方から夜遅くまで鳴き、

竹内さん日本画で入賞

八ツ手竹之内の竹内美幸さんが長野県・長野県教育委員会などが後援する第47回日本絵画展に知事賞を受賞しました。



伊那では4月18日から4月22日まで伊那文化会館に展示されました。

子ども見守り隊紹介の会

手良小学校の「子ども見守り隊」紹介の会が4月20日に行われました。

隊員は区長・民生児童委員をはじめとして4名登録されました。紹介の会が4月20日に行われ、

「安全に気を付けて下校の時はこにちほど声をかけたい。気にかけてくれる人がいてあげたい」とあいさつがありました。

中坪元気会の総会

中坪元気会(高齢者クラブ・藤村利之会長)は3月24日17人がバス2台で総会を兼ねて外で食事をして、温泉で休憩しました。女性の参加は増えました。



手良公民館の講話にある竹中公民館長制作の仙丈ヶ岳を背景にして手良の絵は季節によって変わります。

てらのさと

手良小学校の今年の入学式はイメージであった。入学式には新入生は神妙な顔をしてみな元気に参列した。おめでとう。しかし少子高齢化のことを思うと今後の心配は尽きない。前号で記事にしたチヨウケンポーがこの頃姿が見えない。せっかく毎年手良の地に見えていたたうらうらのだらうか。淋しさを感

中坪の高齢者クラブ(元気会)も頑張っている。八ツ手の竹内さんの日本画が絵画展に知事賞を受賞した。しつとりした心癒される絵であった。絵と言えば「てらとびあ」の講堂にある竹中館長の仙丈ヶ岳を背景にした手良の絵は季節によって筆が加えられるよう

ある。手良坂のコツパンは今年もきれいに花が咲いたが、いわれがあった。2001年(平成13年)頃の「活性化

だより」にも掲載されているが、竜東農免道路の工事の時に、当時の地方事務所長の判断で残された。感謝の気持ちを表すため、地方事務所長にお礼に伺ったことを思い出す

▼「生活雑記」が相変わらず好評である。この記事を読むのを持っていてくれる人が大勢いるようでありがたく嬉しく思う。前号の手良交通安全協会の記事で大きな間違いをおとしました。竹内区長会長

さんの名前を間違えてしまった。名前を間違えるとは言い訳が出来ない事であるが深くお詫言を申し上げます。(T)

主張
森友学園関係の公文書問題 ②

これらを眺めていると、財務省の役人たちが自殺した方を含めてがいかに総理夫人や有力な国会議員に気を使っているかが浮かんできます。しかも、そのことが外部にわかれるはずはないところで、すべて削除しているのです。こうしたことが役の重なる大企業やシンパとなっていたことが想像できます。

昭恵夫人が「感涙」というのは、森友学園の幼稚園児たちが教育勸諭を暗唱したり戦前の教育を思い出させるような道徳教育が行われていた事への感動であり、共感であったという事です。そのうえで彼女が開校が予定されている小学校の名義校長に就任しました。昭恵夫人がもし単なる民間人であれば一私学の教育方針に賛同し感動するに過ぎないでしょう。しかし、総理夫人という立場で決して民間のおおきさんではありませんが、森友学園にだけけるたに、役人が複数付き添っているのです。

蟹澤公園桜まつり

野口高齢者クラブ主催の第7回目の「蟹澤公園桜まつり」が雪を抱いた中央アルプスが見える4月20日に行われ約50名が参加しました。今年の陽気で少し遅い感じでしたが色々な種類があり楽しめました。



蟹澤公園桜まつり

子ども達と一緒に 絵手紙の会

2月22日に定例の絵手紙の会（酒井要子会長）が開催されました。春休みの小学生の孫達も5名参加し、当日は血まわりの作品を作りました。



紙の皿2枚を張り合わせアクリルカラーの絵の具で思い思いに好きな絵を皿の上下に描き乾かせば出来上がりです。子ども達は思い思いの細い棒、葉はしなどで廻す練習をするところから上手に出来るようになってきました。

茶華道教室

手良公民館

お茶とお花を楽しもうと手良公民館では1回第3金曜日（3月20日）に茶華道教室を開催しています。茶華道教室は毎回交互にやっています。3月23日は茶華道の日で講師の加藤洋子先生とその補助者の指導で行われました。参加者は10名でそのうち子どもが4名。



茶華道教室

歌う会

野口高齢者クラブ

野口高齢者クラブ（片桐辰雄会長）は3月20日午前中に野口公民館で「歌う会」を行いました。20数名の会員が参加しました。伊那西高校の二人の先生により「どこか春が」が「春あまい」でアコギが「春あまい」



歌う会

古老を囲む会

中坪の歩み研究会

中坪の歩み研究会は3月24日に「古老を囲む会」を行いました。歴史に造詣が深く長く伊那市の文化財審議委員を務められ、元研究会会長の山岸久男さんから話を聞きました。地元にある堀は灌漑用というよりは防火用であったこと、地元の名産の由来、昔は家元の珍しい地名の由来、昔は家



古老を囲む会

生活雑記

猫、大好き

167

小松利江

毎日毎日通ってくる猫のために、好物かなあとか、子猫が食べられるかなあと思っているの食べ物をすこすこす取っておく。幼い子供の頃オヤツをとっておいたように喜ぶ顔を見るのが楽しかった。こうして猫が好きなのかなあ、内も外も裸足歩きまわっている時には泥足で上がってくる。

雨にぬれてびしょ濡れになった身体を丸ルル振りながら足元を水浸しにする。手の掛かた厄介な動物なのにこんな動作も苦にならない。猫が大好き。もしも猫言葉があったら教えてくれる人がいたら尋ねてみたい、そんな気もする。戦争中に育った玩具など何も無かった子供の頃、猫が玩具かわりになって遊んでくれた時、よくおんぶして子守唄を歌った記憶が懐かしい。戦争中の不自由な生活の中でも、子供の玩具に猫を飼っていた。小さな亀の子半纏を作った

の中に子猫を入れておんぶさせてくれた母親の顔が浮かんでくる。昔の猫はおとなしくて、子供の背中で良く眠っていた。近所のおおきさんが赤ちゃんが眠っているよとか、可愛いねえと良く子猫に声を掛けてくれた。今日度こそ後をつけてこの親子の仕度を見よう、

日に日に大きく成長して木登りも上手になり、遊びも激しくなって楽しんでたまるにいらなくな、取っ組みあって相撲も上手に出来るようになって来た。今日度こそ後をつけてこの親子の仕度を見よう、



どろがま。作法も教わりお茶を飲みました。和室の入り口には茶室も設けられています。

「春がきた」なな春を呼ぶ歌をみんなで楽しく歌いました。終わった後は食事をつと親を深めました。

中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 酒井 7811099



春日治子

畑活 (お) 日記

野口蟹沢の耕地内の畑の中に段ボールで覆われたものが幾つもありました。手良地区外の人々が畑を借りて独活（うど）を段ボールで覆っているようです。そうすると、うどが硬くならずピンクの新芽が伸びるようになります。柔らかい新芽を収穫するためにうどが芽を出したら周りを板などで囲い毎朝芽に土を盛ることをしているところもありました。



うどに覆い



手良坂のコブシ

(おねがい) 身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思ひます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。 七八一〇九四三 高橋